
「大崎国保コホート研究」参加者の皆様へ

1. 研究の対象

1994年10月当時において、宮城県大崎保健所管内（1市13町）に住む40歳以上の国民健康保険加入者であった方

2. 研究目的・方法

<目的>

本研究の目的は、地域に在住する住民の心身機能状態と医療の利用状況（受療日数と医療費、がん罹患情報）を長期追跡することにより、以下の3点を明らかにすることです。

- 1) 要介護となることに関する危険因子（生活習慣・社会心理的な状況・医学的状況）は何か
- 2) 喫煙・肥満・運動不足などの生活習慣や予防医学サービス（健康教育・検診など）は、医療費にどのような影響を及ぼしているか
- 3) 喫煙・肥満・運動不足などの生活習慣や予防医学サービスは、がん発生にどのような影響を及ぼしているか

<方法>

1) ベースライン調査

平成6年10～12月に自記式調査票を、対象者の自宅に配布・留置し、対象者本人による回答の上で回収しました。

2) 追跡調査

(1) 生活習慣・予防医学サービスが医療費に及ぼす影響に関する研究

宮城県国民健康保険団体連合会から提供されている国保レセプトデータと平成6年ベースライン調査データとのリンケージにより、生活習慣などが医療費に及ぼす影響を分析します（例：喫煙者と非喫煙者との間での医療費の比較など）。

(2) 生活習慣・予防医学サービスが、がん罹患死亡に及ぼす影響に関する研究

公益財団法人宮城県対がん協会から提供されるがん罹患データと平成6年ベースライン調査データとのリンケージにより生活習慣とがんおよび健康状態との関連を検討します（例：喫煙者と非喫煙者のがん死亡率・罹患率を比較など）。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・自記式調査票：既往歴、生活習慣（喫煙・飲酒・肥満度・運動量・食品摂取頻度など）、身体運動能力など
- ・国保レセプトデータ：受療日数と医療費など
- ・がん罹患情報、生存状況

4. 外部への試料・情報の提供

東北大学大学院医学系研究科以外の機関に情報提供を行う場合は、個人情報削除し、解析に必要な情報のみを掲載した匿名化データセット（電子ファイル）を作成し、これを提供しています。対応表は、東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野の研究責任者が保管・管理しています。

5. 研究組織

該当なし

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 2-1

東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野 松山紗奈江

電話：022（717）8123

E-MAIL: ohsaki1994@pbhealth.med.tohoku.ac.jp

研究責任者：

東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野 辻 一郎

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合